

交通安全街頭指導実施要領

伊勢市交通政策課

いつも交通安全街頭指導にご協力いただきありがとうございます。

すでにご存じかとは思いますが、安全で効果的な指導が行えるよう、もう一度ご確認ください。

1 街頭指導時の基本的な考え方

- まず自分の安全を確保しましょう。
- 児童の安全な横断を確保しましょう。
- 急な動作で車に事故を起こさせないように注意しましょう。
- 交通安全に関する望ましい習慣を身につけさせる良い機会ですから、積極的に挨拶や声掛けをしましょう。

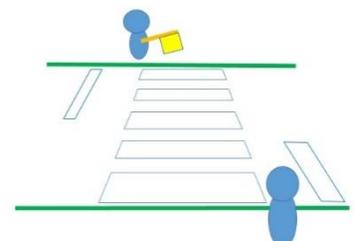
2 指導時の服装

- 目立つ服装で動きやすいもの、ジャンパーやベストの配布があれば着用しましょう。
- 靴はかかとの低い動きやすいものをはきましょう。
- 雨天時はレインコートを着用し、夏の日差しが強い時は帽子で対応してください。傘は視界が悪くなり、片手が使えませんが、十分な合図や動作ができなくなります。

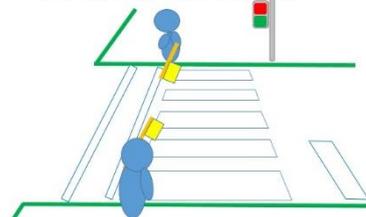
3 指導時の立ち位置

- 歩道や路側帯（白線の内側）がある場所では歩道や路側帯に立ち、なにもない道路ではなるべく道路の端に立ちます。
- 横断歩道のある場所では車が来る側に立ちます。
- 信号交差点で横断歩道と自転車横断帯がある場所では、横断歩道と自転車横断帯の間に立って歩行者の安全を確保しましょう。
- 原則は車道に出ず、常に道路と平行に位置します。

指導時の立ち位置



交差点の場合（信号交差点）



横断旗の使い方（児童を待たせるとき）

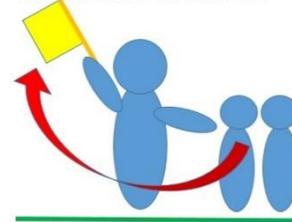


4 横断旗の使い方

- 児童を待たせるときは、自分の立ち位置より一列後方で待たせ、旗を地面と水平に持って、児童が前に出たり、飛び出さないようにします。

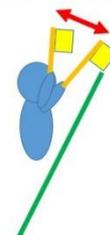
- 合図は旗を持ち替えて、ゆっくり上にあげます。もう一方の手は児童が前に出ないように水平にしたままです。
- 合図を出す際は、車がないとき（車の切れ目）若しくは50メートル以上は離れていることを確認してください。（横断歩道の菱形マークがあれば、2つ目より遠くにあること。電柱があれば3本目くらいを目安）

横断旗の使い方(合図1)

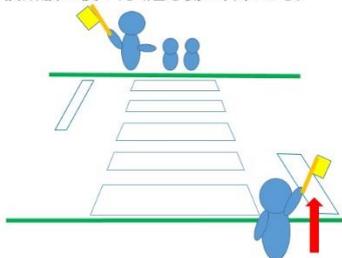


- 横断旗を振る際はゆっくり上下に大きく振ります。この時車の進路上に旗が出ないように注意し、絶対に車を無理に止めようとしなくてください。
- 2人で行う場合は、合図を出すタイミングは、児童を送る側に合わせてください。
- 車両が止まってくれたことを確認して、同時に旗を下げて、安全確認をしてから手ぶりや声掛けにより、児童を横断させます。

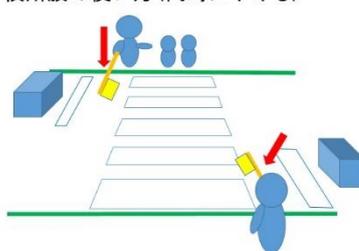
横断旗の使い方(合図2)



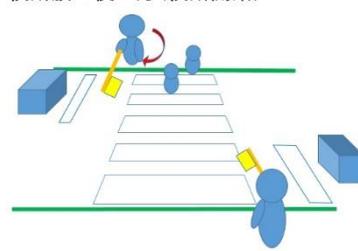
横断旗の使い方(送る側に合わせる)



横断旗の使い方(同時に下げる)

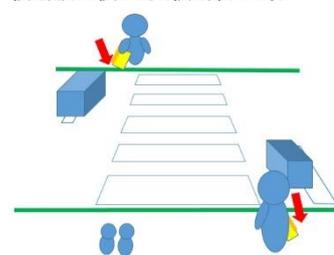


横断旗の使い方(横断開始)



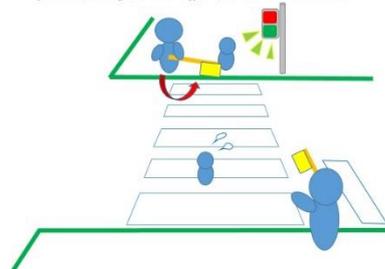
- 児童が止まってくれた車の前を横断し終わったら、旗を降ろします。旗を降ろす前には、次の横断児童が来ていないか等、周囲の安全確認をしてください。
- 横断が終了したら、止まってくれた車に対してお礼をしましょう。車への発進の誘導はせず、発進のタイミングはドライバーの判断に任せましょう。

横断旗の使い方(横断終了時)



- 信号のある交差点等で横断中に歩行者用信号が点滅した場合は、渡る前、若しくは渡り始めの児童については、すぐに声をかけて次まで待たせます。受ける側は、横断中の児童に信号が変わることを伝え、声掛けなどにより、速やかに横断するよう促してください。

横断旗の使い方(信号が点滅したら)



今後も交通安全街頭指導にご協力いただきますようよろしくお願いします。